

ヒルフェ通信(1月号)

❀ そっと寄り添いやさしくサポート ❀

「公益社団法人成年後見支援センターヒルフェ」は高齢者、精神障がい者、知的障がい者等の権利の擁護及び福祉の増進に寄与することを目的として、東京都行政書士会が設立した法人です。



新年明けましておめでとうございます。本年も、ヒルフェの活動や成年後見に役立つ情報を掲載してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



◆第16期基礎研修がまもなく終了します

今年度の第16期社団基礎研修のカリキュラムは、昨年12月に全て終了し、本年1月20日(木)に実施される効果測定およびその後に行われる面接を残すのみとなりました。今年度も、新型コロナウイルスの感染拡大が、昨年に引き続き長期間にわたり継続したこともあり、研修の実施方法も、従来のライブでの生講義は勿論のこと、倫理研修を除いては、東京都行政書士会館でのビデオ講義も実施することができず、多くの研修がZOOMを活用したりリモート研修となってしまいました。また、例年まとめ講義の後に行っていたヒルフェ役員等も交えての懇親会も2年連続で開催を見合わせざるを得なかったといった状況もあり、同期での交流を深める機会も少なく、厳しい受講環境であったかと思えます。

このような厳しい環境下であったため、我々研修を準備・実施する側も不慣れな面が多くあったことは否めず、受講生の皆様に多大なご迷惑をお掛けしましたが、それにもかかわらず熱心に受講して頂いたことに感謝申し上げます。

受講生の皆様が、今後予定されている効果測定・面接に無事に合格され、「後見人等名簿登載者」として登録されることを、心から期待し、お待ちしております。

◆特別研修のお知らせ

ヒルフェでは来たる1月31日(月)に、特別研修として「ぼけますから、よろしくお祈りします。」というドキュメンタリー映画の配信を予定しております。

この映画の監督は、もともとドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクターで、当初は自身の撮影の練習もかねて、帰省時にご両親の記録を撮っておられたところ、少しずつお母様の変化に気付き…。そして、この記録を撮り続けることがご自身の使命だと思い、ときには泣きながら撮られたドキュメンタリー映画です。

自分自身が前とは変わっていくことを自覚しているお母様の不安、それを支えていくお父様のようす、その広島県呉市のご両親を気遣いながらも東京で働くことに、迷ったり悩んだりしながら撮影を続ける、一人娘でもある監督。

会員の皆様のご自身やご自身の周りなど、自分ごととしていろいろ考えることができる映画だと思います。この映画では成年後見制度には直接触れてはおりませんが、ご本人の気持ちであつたりご家族の現実であつたりなど、一例ではあっても私たちが後見業務を行っていく中で大切なことが詰まっていますので、是非ご期待ください。



◆会員の皆様へお願い

支部の移動などで、本会に変更届を提出された場合でも、ヒルフェには連動しておりませんので、お手数ですが、別途ヒルフェにも変更手続きをお願いいたします。書式は下記からダウンロードできます。なお、ご提出していただいてからデータに反映するまで多少お時間をいただきますのでご了承ください。

ヒルフェHP→会員専用ページ→2文書関係のダウンロードのページ→総務関係(届出・手続き)→変更届

